

I

■出題のねらい

指数の拡張を含む計算、不等式の計算、整式の割り算とデータ分析を題材として、基本的な知識と計算力を問いました。

■採点講評

- (1) よくできていました。平方数として右左辺を比較する基本操作に不慣れな受験生も散見されました。繰り返し練習して準備しておきましょう。
- (2) 完答している受験生が少なくありませんでしたが大小関係の見落とし、式変形時のミス、符号の不適切な処理なども多くみられました。よく問題文を読み、丁寧な導出を心がけてください。
- (3) ほとんどの受験生ができていました。計算ミスに注意して確認を怠らないようにしてください。
- (4) はよくできていましたが、 の正答率はあまり高くありませんでした。使う機会が増えていく分野です。よく練習しておきましょう。

II

■出題のねらい

数学 I、数学 II より、加法定理及び正弦定理について基本的な計算力を問いました。

■採点講評

- (1) 加法定理を用いる基本的な計算問題でした。比較的よくできていましたが、、 には大小関係が指定されていますので、注意深く解答しましょう。
- (2) はよくできていましたが、正弦定理を用いる 、、 はあまりできていませんでした。ひとつひとつ丁寧に進めていけば解答にたどり着ける問題ですので、確実に計算を進めましょう。

III

■出題のねらい

数学Ⅱの微分から、導関数や接線の方程式を題材として、基本的な知識と計算力を問いました。

■採点講評

- (1) ほとんどの受験生ができていました。
- (2) あまりできていませんでした。「傾きが最小」の接線ではなく、「傾きの絶対値が最小」の接線を求めている受験生が少なからずいました。問題文をよく読み、題意を正しく捉えるよう心がけましょう。
- (3) 完答できた受験生はあまりいませんでした。計算間違いをしないよう、式変形を丁寧に進めてください。グラフの概形を描いてみるなど、関数を図でイメージしながら解答を進めることも有効だと思います。